

令和5年度第3回あおもり未来ミーティング（中部第6区連合町会）会議概要

日 時：令和5年11月16日（木）14：00～15：40

場 所：奥野団地集会所

テーマ：融流雪溝の運営について ほか

参加者数：9名

市側出席者：市長、副市長、企画部次長、環境部長、福祉部次長、都市整備部理事

■前回いただいたご意見への対応状況

⇒配付資料のとおり

■主なご意見等

○テーマに関するご意見等

- ・私の町会には融流雪溝があるのだが、それは県と市が整備し、堤川からポンプで水を上げて流す流雪溝で、ポンプを動かすためには電気料がかかる。町会の266世帯が利用しているが、年間の予算は100万円くらい。そして今年、電気料が高騰し、通年の3割ほど高くなり、管理組合の運営に支障を来している。そこで、電気料を市に助成してもらいたい。

⇒市から管理組合への財政補助については、融流雪溝は市内全域が整備可能というわけではなく、水源や流末等の諸条件が整っている地域に限定して整備されているため、本市では市民の不公平感の解消と、市民と行政のパートナーシップによる雪対策の推進という観点から、施設の整備は本市が行い、管理・運営にかかる費用については地元住民の方々による自主管理と受益者負担を原則としていることから、融流雪溝の運営に要する電力等の経費について、市が補助することは、現時点では難しい。

- ・敬老会は本来自治体が主催するべきではないかと思う。団塊の世代が75歳に到達することにより、敬老会の開催にも相当なお金がかかるため、市社会福祉協議会の助成金を増やしてほしい。

敬老会を開催するに当たって足りない分は、町会で負担している。今は人口も減少し、世帯数も減少している。それに応じて事業や行事を中止、または減らさざるを得ない。

私の町会では敬老会の対象者年齢を引き上げることも検討している。

⇒今現在、地区社会福祉協議会や町会など、敬老会を主催する団体が、出席するかたの年齢や催し物を様々計画されて開催されていると認識をしている。

助成金の配分額などについて、市社会福祉協議会にも意見があったことを伝える。催し物などについても、市で出席した敬老会の内容等を高齢者支援課で記録しているので、ご相談いただきたい。

- ・勝田公園は他の公園より広く、草払いが大変である。担当課に相談したところ年に1回の決まりだと言われたが、草はすぐ伸びる。公園で遊ぶ子どもたちが埋もれてしまうため、副会長や愛護会が草払いしているが、とても広いので対応しきれない。市には、勝田公園は他の公園よりも広いということを考えて対応してもらいたい。

また、勝田公園には、小さな子どもが遊べる遊具がないため、そういう遊具を設置してもらいたい。遊具を撤去するだけでなく、撤去したら別なものを用意するなどの対応をしてほしい。

⇒草刈りについては、年1回を原則として作業効果の高い時期を町会と調整し、今年度は7月14日に行った。作業時期については、今後も引き続き相談させてもらう。

遊具については、市内全域に老朽化した遊具が増加しており、計画的に改築、更新を行っている。更新する遊具については、現在の遊具と同等の遊具を設置することを基本としている。具体的に何年度に更新するかについては話すことは難しいが、更新する際には次の遊具はどのようなものかいいかを町会と協議させてもらう。